広報さらべつ　１月号

Public Relations Sarabetsu 2016 vol.640

Sarabetsu

更別幼稚園の年長組から新年のご挨拶

２０１６年は
申年ですよ

特集：更別村長・議会議長年頭のご挨拶

更別村長・更別村議会議長　年頭のご挨拶

更別村長

西山　猛

新年あけましておめでとうございます。明るく希望に満ちた新年の幕開けを迎え、村民の皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、日頃より「子どもからお年寄りまで笑顔と笑い声があふれ、住民一人ひとりが輝く更別村」を合言葉に「村づくり三原則」である「住みたい村・住み続けたい村」、「働ける村」、「訪れたい村」の理念のもと、自立と共生を柱に住民の皆様の思いや願いをかなえる村づくりに、大きなご支援とご理解を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、村の基幹産業であります農業は、極端な少雨や急激な気温の上昇など、異常気象による不安定な天候が続き農作物への影響が心配されたところですが、生産者の高い技術をはじめ関係者の皆様のご努力により、粗生産額が約120億円と、史上最高を更新する見込みであると伺いました。改めて関係各位の皆様のご努力に敬意を表するものであります。

また、10月に行われた全日本ホルスタイン共進会では、昭和区の天野洋一さんの出品牛が最高位賞に輝き、更別農業の力強さを感じました。

11月には市街地活性化拠点である「更別街なか交流館　ｍａ・ｎａ・ｃａ」が完成しました。これからは、この交流拠点施設を中心に地域住民・団体・商工業者との連携を深め、市街地での「にぎわい創出」と、大盛況であった大型遊具などの周辺施設や「国際トラクターＢＡＭＢＡ」などのイベントとの有機的な連携により、「憩い」「交流」「産業連携」の「場」としての機能が十分に発揮されるよう努めてまいりたいと考えています。

特産品の開発をはじめ、各種の活動で村の元気を発信し続けていただいている「村の貴重な宝」である更別農業高校とも連携をし、村の魅力の向上に努めていきます。

さて、国内経済に目を向けると、これまでの長期にわたる景気の低迷から緩やかな回復基調が続いているものの、地方まで景気の回復が行き渡っていないのが現状であります。

10月5日にＴＰＰ協定交渉の大筋合意がなされたことは、地域経済などの幅広い分野に大きな影響を及ぼすと共に農林水産業に深刻な打撃を与える懸念があり、地方創生を進めるにあたって大きな支障となりかねないものであります。重要5品目も含め、経営所得安定対策への事業の拡充や財政措置、さらには、農林水産業の体質強化対策などを国に対して強く求めるものであります。

現在、わが国を取り巻く社会環境や経済状況は大きく変化し、予想を上回る少子高齢化の進展や、急激な人口減少問題など、地域の存続そのものが、危機に直面しています。

本村においても人口減少の克服と地域の活性化を目指し、新たに人口ビジョンと総合戦略を策定したところであります。子育て支援や医療・教育・福祉の充実、基幹産業である農業や商工業の振興に向け、しっかり取り組んでまいりたいと考えています。

本年を地方創生元年とし、住民の皆様がこれまで以上に「豊かさと幸せを共有」し、「夢と希望の持てるふるさと更別」を築いていくため、手を取り合って明日の村づくりに邁進しなければならない時であると考えております。

「住む人の　瞳かがやく更別に　笑顔の花を　咲かせたい！」

本年も、職員と一丸となって住民が主人公の村づくりに邁進していきたいと考えております。どうか村民の皆様の変わらぬご支援とご協力を切にお願いするものであります。

結びに皆様の益々のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

更別村議会議長

松橋　昌和

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、第二次世界大戦終結70年を迎えた昨年を振り返りますと、イスラム過激派組織による日本人拘束事件は悪夢としか言いようのない結末となり、また、フランスのパリでは同時多発テロ事件が発生し、多くの方が犠牲となりました。改めて紛争のない平和な世界を願わずにはおれない一年となってしまいました。国内では、9月に関東地方で激しい雨が降り続き、河川の氾濫が相次ぐなど、各地で災害が発生し甚大な被害が生じました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

同じく9月に安全保障関連法案が成立し、日本の安全保障政策は大転換点を迎えることとなりました。10月には十分な情報開示がないままＴＰＰ交渉が大筋合意に至りました。かつてない農畜産物市場の開放につながり、農業を基幹産業とする村にとって大きな不安を抱える結果となりました。今後は、生産者の不安を払拭し持続可能な農業の確立が求められます。

２０２５年問題や依然厳しい経済状況、原子力発電の再稼働、沖縄の基地移転など問題が山積している我が国ですが、東日本大震災で被災した仙石線が全線で運転再開されるなど着実に復興への道を歩んでいます。また、ラグビーのワールドカップで日本代表が歴史的勝利を収めるといった明るい話題も聞かれました。今年も日本を明るくしてくれる出来事が一つでも多くあればと願っています。

さて、更別村におきましては、基幹産業である農業では、記録的な干ばつ、急激な気温の上昇により農作物の生育が心配されましたが、農業者の皆様のご努力と関係機関のご指導により、史上最高レベルの農業粗生産額を確保できたと伺っています。３月には、地権者や関係者のご支援、ご協力により、高規格幹線道路帯広・広尾自動車道の更別ＩＣから忠類大樹ＩＣまでの間が完成し、物流効率化や医療の安定性向上が期待されます。10月には「更別村まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。我が国は、本格的な人口減少社会に突入し、本村においても、まち・ひと・しごとの創生と好循環確立のため具体的な取り組みを進めなければなりません。11月には更別街なか交流館ｍａ・ｎａ・ｃａが完成しました。今後、市街地活性化の拠点として機能することを期待しています。そして、昨年も更別の次世代を担う小・中・高の児童生徒のみなさんが、文化・スポーツで活躍され、優秀な成績を収めています。

昨年は、統一地方選挙の年でもありました。更別村議会も無投票ではありましたが、少数精鋭の８名の議員が誕生しました。議員個々の質を高めるため、日々の勉強、研修を積極的に行うことが議会の活性化、改革の一歩だと考えています。皆様には変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が村民の皆様にとりまして、ご健勝で幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

行政区長会議を開催

12月2日、今年度2回目の行政区長会議が役場3階大会議室で開催され、平成28年度の主な事業予定などの案件について西山村長や担当課長から説明がありました。話し合われた議題のうち主なものをご紹介します。

平成28年度主な事業予定

平成28年度の村の主な事業予定では、「公営住宅建設事業」、「道路改良舗装事業」、「酪農振興対策事業」、「防災無線更新事業」などの57事業を予定しています。

行政区懇談会を開催

毎年1月に開催している行政区懇談会を今年度も開催します。

1月中旬から下旬までの間で開催を希望する農村地区の行政区は、1月8日までに役場企画政策課へご連絡ください。

また、市街地でも開催を予定しています。日時など詳しくは防災無線でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

出前講座を開設

毎年1月に開催している出前健康講座や消費者出前講座を今年度も開催します。

出前健康講座は「認知症とどう向き合うか」をテーマに、村診療所勤務の医師が講師として各行政区で講演します。講演時間は1時間程度です。

消費者出前講座では、5名以上の団体を対象に、2時間以内で開催します。内容は、年々巧妙化する悪質な訪問販売や架空請求など、消費者問題の解決方法などです。

開催を希望する行政区は、それぞれの窓口となる村診療所、役場産業課（ふるさと館）にご連絡ください。

十勝管内の消防を広域化

平成28年度から十勝管内の消防が広域化されます。

それにより、現場到着時間の短縮、組織の活性化、消防救急デジタル無線の効率的整備など、住民サービスの向上が図られます。

食育事業

JAさらべつ青年部が村内園児とクッキング交流

Let's Cooking!!

■どんぐり保育園

どんぐり保育園では、年長組がサンマをさばくことを体験。頭を切り落とし、内臓を取り出します。1人ではなかなか難しい作業ですが、青年部員の力を借りて上手にさばくことができました。

ほかにもポテトサラダやカボチャのクリームスープなども作り、おいしい給食が完成。

初めて魚をさばいたという園児は「ぬるぬるしてて難しかったけど、自分で切ったサンマはおいしかったです」と話していました。

■更別幼稚園

交流は上更別幼稚園の園児も合同で開催。両園で収穫した野菜を使いカレー作りに挑戦しました。

青年部員のみなさんの手助けを受けながら野菜を一口大に切り、炒めた肉と一緒に鍋に入れて煮込みを開始。待っている間に、牛の模型を使った搾乳の疑似体験や、バター作り体験を行いました。

煮込まれた野菜に「おいしくなぁれ」の魔法をかければカレーは完成。3回もおかわりをする園児もいるほどおいしく作ることができました。

後期高齢者医療制度のお知らせ

～高額介護合算療養費及び医療費通知について～

◯高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、１年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。

※後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが０円の場合は対象となりません。
※支給額が500円以下の場合は支給されません。

申請される方は、役場保健福祉課国保医療係までお申し出ください。

自己負担限度額表

１年分の自己負担額の計算期間：８月１日～翌年７月３１日

負担割合	区分		自己負担額合計の基準
３割	現役並み所得者		６７万円
１割	一般		５６万円
	住民税非課税世帯	区分２（※１）	３１万円
		区分１（※２）	１９万円

※１：世帯全員が住民税非課税である方
※２：世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が０円（公的年金収入のみの場合、その受給額が８０万円以下）、または老齢福祉年金を受給している方

◯医療費通知の送付を希望される方へ

北海道後期高齢者医療広域連合では、発行をご希望される方を対象に、医療費を半年ごとにまとめた医療費通知を送付しています。次回の発行は平成28年３月末（平成27年７月から12月診療分）に行います。

新たに発行をご希望の方はご連絡ください

新たに発行をご希望の方は、お手数ですが北海道後期高齢者医療広域連合または更別村役場保健福祉課国保医療係へご連絡ください（電話でのご連絡だけで手続きができます）。

●問い合せ
役場保健福祉課国保医療係　☎53－3000
北海道後期高齢者医療広域連合　☎(011)290－5601

○すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方には継続して発行しますので、再度の連絡は必要ありません。
○この通知を受取られたことにより、申請などの手続きをされる必要はありません。
○この通知を確定申告などに使う「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

役場保健福祉課
国保医療係　三河周平主事

村長室だより NO.8

letter from Takeshi

地方創生のキーワード？

地方創生元年！
マス・ローカリズムの時代？

「マス・ローカリズム」ちょっと聞きなれない言葉ですが、地方創生に取り組む自治体の中では、最近特に注目されている言葉です。イギリスでは、「地域の主体性、個性にもとづいたボトムアップ的な地域政策手法」のことを示し、もっと堅い表現になると、「地域主義、自由市場、そして市民社会にシフトした政策モデル」ということなのだそうですが、やや文言が難解で、私たちには、とても馴染みが薄く、本当に分かりづらい言葉です。

しかし、「ローカル」と言う言葉なら、地方や田舎という意味で聞き覚えがありますし、さらに「マスコミ」や「マスメディア」だとイメージも湧き、「マス」の意味する「多い」「増える」などと合わせて、「より地方へ」とか「もっと田舎へ」とか「田園回帰」というふうに解釈を考えることもできそうです。

この「マス・ローカリズム」は、日本でも「人口と所得の１％取戻しで女性と子どもと暮らしが輝く」とのスローガンのもと、精力的に地方創生に取り組んでいる島根県などの総合戦略策定の大きな柱の一つともなっていると聞きます。

「日本一の子育てのまち」

島根県、邑南（おおなん）町から学ぶ特に同県の邑南町では、町の政策や計画の立案に、この手法が取り入れられています。町のスローガンは、「日本一の子育ての町」。２０１１年度から中学校卒業までの医療費、第２子以降の保育料が全額無料化され、一般不妊治療費助成、子育て支援手当の充実、放課後児童クラブ費減免制度などが行われ、合計特殊出生率も２．65（２０１２年）と全国平均を大きく上回っています。財源も過疎対策事業を活用し、邑南町日本一の子育て村推進基金として、年間５千万円ずつ積み立てながら、役場を挙げてこれに取り組むための「日本一の子育て村推進本部」も立ち上げています。

また、これと連動して就労・保健・医療・福祉・結婚・生活環境・定住支援などの様々な施策がセットで、地域ぐるみの町づくりが行なわれているのです。

住民参画による

積み上げ方式（ボトムアップ）の町づくり

邑南町の素晴らしさは、住民のみなさんが各地域・行政区での「町政座談会」などを軸に、コーディネーターである役場職員と共に知恵やアイディアを出し合い、政策にまとめていくところです。地域の人材や企画力を活かした自主的な地域づくりを町が応援し、多くの方々の合意形成のもとでプランを作成し、実行していくことの大切さを私たちに教えてくれています。

厳しい人口減少に立ち向かう今、地域の主体性、個性にもとづいたボトムアップ的な地域政策手法であるマス・ローカリズムは、私には自治体が生き残っていくための大きなキーワードのように思えてなりません。

～子どもからお年寄りまで笑顔と笑い声があふれ、一人ひとりが輝く村～

Sports

11/29 行政区対抗バスケットボール大会

団体
●優勝　旭区
●2位　更別東区
●3位　大連合
個人
●最優秀選手賞
西川　公太（旭区）
●優秀選手
山角　直紀（更別東区）
平谷　雄二（大連合）
高橋　尚椰（勢雄区）
中條　百絵（新栄町）
早坂　正直（更別区）
●得点王
【男子】高橋　良輔（勢雄区）
【女子】塩田　美幸（更別東区）
フリースロー大会
●優勝　稗田　千穂（新栄町）

12/13 年齢別混合バレーボール大会（6人制）

団体
●優勝　勢雄区
●2位　旭区A
●3位　南更別区
個人
●最優秀選手賞
高橋　良輔（勢雄区）
●最優秀選手賞
森田　惇斗（旭区A）
●スパイク賞
梶　昌央（旭区B）
●レシーブ賞
田中優希子（柏町）

※敬称略

約２万球のイルミネーションが冬の更別を彩る
ときめきイルミネーション

12月１日、村観光協会と南十勝夢街道プロジェクト推進協議会の共催で、ときめきイルミネーションの点灯式が行われ、多くの親子連れなどでにぎわいました。

今年のイルミネーションは昨年と同数の約２万球。運動公園や農村公園の木々に飾り付けられ、観光協会の江本会長のカウントダウンで一斉に点灯。会場に集まったたくさんの子どもたちから感嘆の声が上がりました。

会場では、更別産あんこのおしるこや更別農業高校のコンフィチュールを使ったフレンチラスクの無料配布、マシュマロ焼き体験など体が温まるイベントも行われ、イルミネーションに負けないくらい子どもたちの笑顔が輝いていました。

イルミネーションの点灯は２月14日（日）まで毎日17時00分から21時30分まで。また、本通り商店街の各店舗においても同様にイルミネーションが点灯され、冬のさらべつを鮮やかに彩ります。観光協会事務局の地域おこし協力隊員稗田千穂さんは、「今年は１本の木を飾る電飾の量を増やしています。更別の街を温かく華やかに彩っていますので、ぜひご覧ください」と話していました。

ふるさと館でもイルミネーション

今年から新たにふるさと館のロビーでもイルミネーションが行われています。

彩られているのは、展示中のトラクターと中庭に面したガラス窓。また、取材を行ったこの日は、同じく展示しているクマの親子のはく製に、クリスマスに合わせてサンタクロースの衣装を着せていました。この企画を行った地域おこし協力隊の亀井秀樹さんは「イベントの時季に応じてクマの親子衣装を変える予定です。来館した方がイルミネーションを見て喜んでもらえたら」と話しています。

農村地区の合併処理浄化槽は村が設置します

村では農村地区を主な事業地域として、快適な生活環境づくりを目指し、村が住宅の浄化槽の設置と管理を行う合併処理浄化槽設置事業を推進しています。

公共水域の水質汚濁を防ぎ、安心・安全な生活環境を維持するためにも合併処理浄化槽の設置をご検討ください。

●対象地域
更別・上更別市街を除く地域
●住宅新築を伴う場合
工事のスケジュール調整のため、早めの申し込みをしてください。
●申し込み・問い合せ
役場建設水道課上下水道係　☎52－5200

規模別料金表

人槽	使用料（月額）	受益者分担金（５年払）	
		１期当り（年４回）	総額
５人槽	4,000円	5,500円	11万円
７人槽	4,500円	7,000円	14万円
10人槽	5,100円	9,000円	18万円

※使用を開始した翌月から表の使用料（月額）を定額で納付することになります。
※受益者分担金は合併処理浄化槽を設置した翌年度から納付が始まり一括払いも可能です。

各課・施設の電話／メールアドレス
➔ 総　務　課　☎52－2111　✉soumu@sarabetsu.jp
➔ 企画政策課　☎52－2114　✉kikaku@sarabetsu.jp

11/29 ふれあい広場大盛況

老人保健福祉センターで村社会福祉協議会主催のふれあい広場さらべつ2015が開催され、多くの来場者が訪れました。

今年のテーマは『人とひと　地域の絆で　まちづくり』。昨年から行っている映画の上映会では、東日本大震災発生時のドキュメンタリー映画「逃げ遅れる人々ー東日本大震災と障害者」を上映。ほかにも、福祉用具の展示・体験コーナーやリサイクルバザー、ふれあい写真展など多数のイベントが催され、多数の来場者による出会いで地域の絆が強まり、村の福祉への理解が深まる1日となりました。

12/9 上更幼の園児が世代間交流

上更別幼稚園の園児が、グループホーム元気の里さらべつを訪れ、世代間交流を行いました。

園児は、入居者のみなさんに学習発表会で行った歌や踊りを披露。園児のかわいらしい仕草に目を細めてみていた入居者の方も、しだいにリズムに合わせて体動かし始め、会場は温かい空気に包まれました。交流の最後に園児は、入居者のみなさんのために作ったサンタクロースの飾りを手渡しました。入居者のみなさんも、お返しに園児一人ひとりへ折り紙をプレゼント。園児にとっては、思わぬクリスマスプレゼントとなりました。

村道の維持管理業務に携わる村内の事業所で、労務災害防止と交通安全対策の推進を目的に組織される村道路維持連絡協議会（廣瀬英明会長）が、本格的な除排雪シーズンを前に事故防止への意識をより一層高めようと、社会福祉センターで安全大会を開催しました。

大会には、村内の5事業所から32名が参加し、廣瀬会長が「安全確認をしっかりと行い、事故を起こさないように気を付けましょう」と挨拶。西山村長の来賓あいさつ、星更別駐在所長の交通安全講話に続き、参加者を代表して三立運輸㈲の太田和希さんが安全宣言を読み上げ、「ゼロ災害達成」を誓いました。

12/4 サイエンスサンタがやってきた

どんぐり保育園で、科学を用いた遊びで理科に興味関心を持ってもらおうと、「サイエンスサンタがやってきた！」と題し、科学実験ショーが行われました。

サンタは自ら作ったホバークラフトで登場し、最初から子どもたちの視線を釘付けに。その後も、コインや果物を電池として使い電球を点灯させたり、空気の力でボールを浮かせるなどの遊びを披露しました。子どもたちも自分たちで小型ホバークラフトのおもちゃを作成するなど時間はあっという間に過ぎました。

参加した小学生は「科学っていっぱい遊べておもしろいね」と興奮気味で感想を話していました。

11/30 除雪作業の安全を願って

12/8 上更幼建て替え計画の経過報告

現在、村が検討を進めている上更幼稚園の園舎建て替えについての地域住民説明会を、上更別福祉館で開催しました。

今回の説明会では、上更別地域の子育て世帯との意見交換会や子育て委員会など各方面からの意見を参考に、上更別の子育て環境の充実を目指した新しい園の運営形態や、放課後の小学生の居場所づくりについての大まかな方向性を地域のみなさんに説明。また、上更別小学校との連携や上更別市街地の活性化を目的とした園舎建設候補地の絞り込みについて、模型やスライドを用いて説明を行いました。

今後は、行政区懇談会などの場で村内全域に検討の経過説明を行う予定となっています。

12/9 上小でリンク開き

12/9 村内の小学校で赤い羽根

村内の各小学校で取り組んだ赤い羽根の募金活動で集まった善意が、更別村共同募金委員会の丹後正義会長に手渡されました。

この日は午前中に更別小学校、午後から上更別小学校でそれぞれ贈呈。更別小学校では、3日間にわたる玄関での呼びかけや校内放送でのアナウンス、各クラスへお願いに回るなど児童会が中心となって活動して集まった5360円の募金が小本眞瑛児童会長から手渡されました。

萩野泰幸校長は「児童は募金を通して、地域の一員としてとても大切なことを学んでいます。社会との関わりを持つことが大人になって役立つはず」と話していました。

12/14 夢ん子ハッピークリスマス

農村環境改善センター内の図書室で、夢ん子ハッピークリスマスが開催され、18名が参加しました。

今年から外国語指導助手のイエン・コーカーさんが、幼児向けにクリスマスの外国語図書の読み聞かせを初めて実施。このほかクリスマスツリーを飾るために幼児は折り紙サンタを、小学生は紙皿のリースやバルーンアートを作成し、イエンさんと一緒にクリスマスツリーを完成させました。

参加した幼児は「折り紙が難しかったけど上手に作れました。家でも作っておうちのクリスマスツリーに飾ります」と話していました。

上更別小学校で、グラウンドに作られた屋外リンクが完成しリンク開きが行われました。

今年は積雪に恵まれ12月4日から造成作業がはじまり、昨年より10日以上も早いリンク開き。リンク開きに先立ちPTA会長の本間靖人さんが児童に「保護者のみんなで頑張って作りました。スケートは十勝を代表するスポーツですので楽しんでください」と呼びかけ、児童会副会長の本間有莉さんは「夜中や早朝の寒い中、リンクを作っていただきありがとうございます。少しでも自己ベストを更新できるように頑張ります」と答え、児童は早速できたばかりのリンクへ飛び出していきました。

保健だより

vol.56

保健師　藤平　さつき

平成２８年度から日本脳炎が定期接種となります

日本脳炎とは、豚の体内で増えた日本脳炎ウイルスが蚊によって媒介され、人が刺されることで感染します。突然の高熱、頭痛、嘔吐などで発症し、意識障害や麻痺などの神経系の障害を引き起こす感染症で、後遺症を残すことや死に至ることもあります。道内でも豚から日本脳炎の抗体が検出されていますが、人から人へ感染することはありません。

日本脳炎の予防接種はこれまで任意接種でしたが、平成28年度から定期接種となります。予防接種は４回受けないと抗体ができませんのでご注意ください。また、初回接種の年齢によっては接種が有料となることがあります。

日本脳炎の予防接種について

対象者	生後６か月から20歳未満
接種回数	別表参照
接種場所	更別村国保診療所
接種日	毎週木曜日 ※要予約 13：30～14：00
接種費用	無料（村負担）

※接種を希望される方は、前日までに診療所への予約が必要です。

◆別表

			接種間隔及び時期	優先年齢 ※２
１期	初回	１回		３歳（28年度）
		２回	１回目から１か月後	
	追加		２回目から１年後	４歳（28年度）
２期			９歳～13歳 ※１	

※１　９歳以上で初回接種となる方は、２期の接種は追加接種から１週間以上空けると接種が可能です。

※２　ワクチンが不足した場合は優先年齢の方から接種することとしますのでご了承ください。

●問い合せ
役場保健福祉課保健推進係　☎53－3000

ご厚意に感謝します

香川区の井脇健治さんから、30万円の寄付金をいただきました。

寄付金は『その他目的達成のため村長が必要と認める事業』に使わせていただきます。

ありがとうございました。

ご利用ください！ 村づくり出前宅配便

村では、村民のみなさんが疑問に思っていることや聞きたいことなど、行政全般についてのことを、役場職員が説明に伺う『村づくり出前宅配便』を実施しています。

●利用できる方
村内に在住、在勤、在学中の５人以上のグループ

●時間
９時30分から21時00分（２時間以内）

●場所
村内に限ります。
ただし、会場の手配は主催される方に行っていただきます。

●申し込み方法
直接役場に来られるか、電話でお申し込みください。

●申し込み・問い合せ
役場住民生活課広報統計係
☎52・2112

各課・施設の電話／メールアドレス
➔ 議会事務局　☎52－2117　✉gikai@sarabetsu.jp
➔ 農業委員会　☎52－2116　✉nougyou@sarabetsu.jp

インフォメーション

Information kouhou Sarabetsu

行政に対するご意見やご要望などを、ハガキ・Ｅメールなどでお寄せください。（ハガキは3ヵ月ごとに広報紙へ折込しています。ご利用ください）

お知らせ

110番の適切な利用を

110番は、事件・事故などが発生した場合に警察へ緊急通報するための電話です。また、耳が不自由な方のための「メール110番」もあります。携帯電話のメールで、北海道警察に接続し通報することができます。

急を要しない相談や照会などは、「＃9110」、または最寄りの警察署、交番などへお問い合せください。

●問い合せ
帯広警察署　☎25－0110

募集

国有林モニターを募集します

北海道森林管理局では、国有林モニターを募集しています。

●応募資格
北海道在住の20歳以上の方

●応募期限
平成28年２月26日（金）

●応募に必要な記入内容
氏名・性別・住所・生年月日・年齢・職業・電話番号・国有林モニターを知ったきっかけ・応募理由(100字程度)

●依頼期間
平成28年４月～平成30年３月

●依頼内容
国有林モニター会議や現地見学会への出席、アンケート調査など

●応募・問い合せ
北海道森林管理局　企画課
☎(011)622－5228

職業能力開発校 平成28年度入校生追加募集

国立北海道障害者職業能力開発校では、休職中の障がい者の入校生（訓練期間は１年または２年）を追加募集しています。

詳しくは当校または最寄りのハローワークへお問い合せください。

●問い合せ
国立北海道障害者職業能力開発校
☎(0125)52－2774
ハローワーク帯広　☎23－8296

自衛官を募集します

募集種目	募集資格	試験日	入隊時期
自衛官候補生（男子）	18歳以上27歳未満	２月12日（金）	平成28年３月下旬予定

●問い合せ
帯広市西５条南14丁目ＮＣサウスビル
自衛隊帯広募集案内所　☎23－8718

国民年金

20歳になったら国民年金

●国民年金ってなに？
国民年金は年をとった時や、病気やケガなどいざという時の生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた公的年金制度です。20歳以上60歳未満の方に国民年金への加入が法律で義務付けられています。

●加入手続き
20歳の誕生月の前月に、日本年金機構から国民年金加入の案内が郵送されます。同封の「国民年金資格取得届」に必要事項を記入し、お住まいの市区町村役場もしくは最寄りの年金事務所へ提出ください。

提出後、日本年金機構から年金手帳が送付されます。年金手帳には基礎年金番号が記載されており、就職するときや年金に関する手続きのときに必要となりますので、大切に保管してください。

●問い合せ
帯広年金事務所　☎25－8113
役場住民生活課戸籍窓口係　☎52－2112

税

確定申告のお知らせ

平成27年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告期間は、２月16日（火）から３月15日（火）までです。

確定申告書は、「前年の申告書控え」や「確定申告の手引き」などを参考に作成し提出してください。

税務署の申告会場にお越しの際は、「前年の申告書控え」と確定申告に必要な書類及び印鑑をご持参ください。確定申告書などの用紙や手引きは役場にも備え付けています。

※駐車場が大変混雑しますので、公共交通機関をご利用ください。

※土・日曜日、祝日は、税務署での確定申告の受付は行っていません。申告書は、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」でも作ることができます。作成した申告書は、印刷して郵送などにより提出できるほか、そのままｅ-Ｔａｘで送信することもできます。

●相談時間
平日の9時00分から17時00分まで

※混雑状況によっては長時間お待ちいただく場合や早めに受付を終了させていただく場合があります。

●申告会場
帯広税務署
帯広市西5条南6丁目1番地

●問い合せ
帯広税務署　☎24－2161
国税庁ホームページ
http://www.nta.go.jp

固定資産税第４期納期限は２月１日(月)です

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

●問い合せ
役場住民生活課資産税係
☎52－2112

各課・施設の電話／メールアドレス
➔ 保健福祉課　☎53－3000　✉hoken@sarabetsu.jp
➔ 国民健康保険診療所　☎52－2301　✉shinryousyo@sarabetsu.jp

更別農業高校ニュース

これまでの学校生活と今後の目標

農業科1年　林　海斗

私が入学した更別農業高校には、農業科と生活科学科の二つの学科がある。私は農業科に入り、普通教科に加え、牛のことなど農業科特有の教科を約8か月間勉強してきた。どれも興味深く、とても面白い。

私には将来の夢がある。それは酪農ヘルパーになることだ。なぜなりたいのかと言うと、自然と触れ合い楽しみながら仕事をしたいと思っているからだ。そのために今農業の勉強を頑張っている。夢を叶えるために今後も頑張りたい。

更農での半年間とこれから

生活科学科1年　中村　咲菜

私が更別農業高校に入学して半年がたちました。この半年の中で、私はたくさんのことを学びました。仲間のありがたみや中学校とは違う高校のルール、そしてなによりも学校の楽しさを知りました。

そして、この半年にできた新しい仲間達といろいろな思い出をつくりました。学校祭や体育祭、宿泊研修や実習、最高に楽しい放課後。どれも今の仲間がいたからつくれた思い出です。これからも、今しかできないことをたくさんして、最高の青春を送りたいと思います。

農村環境改善センター　図書室　今月のおすすめ本

110すべての活火山の噴火と特徴がわかる日本の火山図鑑

高橋　正樹／著

火山の全景や噴火時の様子がわかる写真を多く掲載し、噴火史や防災に関する話題も豊富な一冊。

ネットで見かけた信じられない日本語

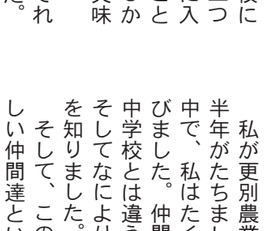
野崎　洋光・成瀬　宇平／著

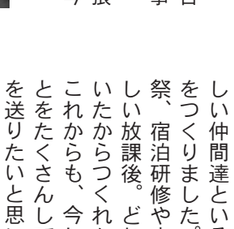
従来の活字表現の中ではあまり目にすることのなかった『現代的』な日本語表現オンパレード！

お薬辞典2016年版

一色　高明／編

病院の薬が名前で引けて、ジェネリック薬も実物写真で値段がわかる。ジェネリックマーク付き。

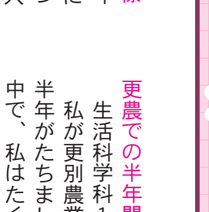




八木　僚太（やぎ　りょうた）くん
平成27年1月20日生
新栄町

八木家の長男、僚太です。いつも周りのみなさんにかわいがってもらっています。名前のとおりお友達をたくさんつくって芯の太い男の子になってね。

俊宏・玲



岡　蓮音（おか　れおん）くん
平成27年1月20日生
旭区

蓮音は良く笑うとっても明るい子です。最近はなんでも自分でやりたがるように成長しました。周りの人の温かさに支えられ、すくすく成長させてもらってます。

直樹・里美

各課・施設の電話／メールアドレス
➔ 教育委員会　☎52－3171　✉kyoui@sarabetsu.jp
➔ 南十勝消防事務組合更別支署　☎52－2201　✉syoubou@sarabetsu.jp

更別の中学生 各種大会で大活躍

貫録の全道制覇 ～柔道～
全道でまず１勝を ～ソフトテニス～

夏の中体連まで 負けるわけにはいかない！

11月28日、札幌市で開催された第22回横井七之助旗争奪北海道中学校新人柔道団体優勝大会で、２年生の安村華琳さんが優勝しました。

安村さんは、夏の中体連でも北海道を制しているため対戦相手に対策を練られての難しい大会でしたが、10月に黒帯を取得したことで向上心が強くなり今回の結果につながりました。

今後は「今ある技のキレを磨きつつ、技の種類を増やし、夏に向けてより一層強くなりたい」と話してくれました。

不安はあるけど 仲間の声を背中に感じて

12月26日、砂川市で開催される第３回北海道中学生シングルスソフトテニス選手権大会に出場する２年生の髙橋ありささんが教育委員会に出場報告に訪れました。

髙橋さんは11月27日に行われた十勝地区予選で準優勝を収め、全道大会への切符を獲得。出場にあたり「シングルスは初めての全道大会ですが、自分の持っている力を出し切って、頑張ってきます」と、荻原教育長に意気込みを話しました。

冬休み夢ん子シアター

2大戦隊の夢の共演
烈車戦隊　トッキュウジャー VS キョウリュウジャー The　Movie

感動のアドベンチャー作品
ベイマックス

場所と時間

1/7	上更別福祉館 集会室	トッキュウジャー	13：15～
1/8	改善センター 視聴覚室	ベイマックス	14：30～

●問い合せ
教育委員会事務局社会教育係　☎52－3171

平成２８年度 新入学児童・生徒の保護者のみなさんへ

平成28年４月に村の小学校へ新たに入学される児童（平成21年４月２日から平成22年４月１日生まれ）と中学校へ新たに入学される生徒（平成15年４月２日から平成16年４月１日生まれ）のお子様がいるご家庭に対し、１月下旬に入学通知書を送付します。

通知書が届かない場合や内容に誤りがある場合は教育委員会までご連絡ください。

●問い合せ
教育委員会事務局学校教育係
☎52－3171

各課・施設の電話
➔ ふるさと館　☎52－2211
➔ どんぐり公園　☎52－2406
➔ 老人保健福祉センター　☎53－3500
➔ 生活支援ハウス　☎52－2233

人のうごき

■人　口
3,282人（－5人）【内外国人8人】
男1,624人（－5人）
【内外国人5人】
女1,658人（±0人）
【内外国人3人】

■世帯数
1,303世帯（＋1）
【内外国人3世帯】

※12月1日現在。（　）内は前月比。

地域安全ニュース

■地域安全運動のお知らせ

先日十勝管内で高額被害の特殊詐欺が発生しました。「老人ホームに入所する権利があるので、名義を貸して欲しい」などと言われ、これを了承した被害者に対し、後日「名義貸しは裁判になる」「そうならないために現金が必要だ」などと言われ、直接現金を手渡す被害に遭っています。

「名義貸しは違反になる」「解決に現金が必要」というキーワードを聞いたら詐欺です。1人で悩まず、家族や警察に必ず相談しましょう。

ぽ・つ・り

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

私が発行する新年号も3回目となりました。つまりは3年間も広報を作らせていただいております。最近では、仕事以外の場面でも子どもたちには「カメラの人だぁ」と認識いただいている様子。1人でも多くのみなさんと関わりたいと考えている私にとって、広報の担当になって良かったと感じる瞬間です。今年も“カメラの人”はいっぱい取材にお邪魔しますよ！

ウラ表紙の風景

上更別小学校で親子餅つき会を開催

12月4日、上更別小学校で全校児童と保護者が集まり親子餅つき会が行われました。

蒸かしたもち米が臼の中に入れられると、すぐに餅つき開始。1年生から6年生まで児童全員が力強く杵でつき、仕上げに先生がつくとおいしいお餅がつきあがりました。それをあんこやきな粉などをまぶして児童全員で「いただきます」。

6年生の本多未来さんと有金菜々美さんは「杵が重たくて大変だったけど、みんなで力を合わせてついたお餅はやわらかくてとってもおいしかったです」と感想を話してくれました。

広報さらべつ　1月号
Public Relations Sarabetsu 2016 vol.640
Sarabetsu
平成28年1月1日発行（vol.640）
更別村役場　住民生活課
〒089－1595
北海道河西郡更別村字更別
南1線93番地
☎0155(52)2111（代表）　FAX0155(52)2812
ホームページ　http://www.sarabetsu.jp/
Eメール（代表）village-office@sarabetsu.jp

表紙の風景

今年の表紙は更別幼稚園年長組。みんなに一文字ずつ書いてもらいました。そして、今年の干支のサルも。みんな失敗せずに上手に書けました。間違えたときのために用紙を多めに持っていきましたが、要らぬ心配でした。